



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 太平洋興発株式会社

コード番号 8835 URL <http://www.taiheivo.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 幹介

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 上原 與章

TEL 03-5830-1602

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,922	26.2	471	56.4	521	25.2	561	44.9
23年3月期第2四半期	12,613	7.9	301	△25.4	416	△7.7	387	865.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 339百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.28	—
23年3月期第2四半期	5.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	34,477	12,834	36.2	184.27
23年3月期	33,371	12,598	36.8	181.33

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,495百万円 23年3月期 12,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	1.50	1.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	16.7	700	4.2	800	△12.2	500	55.4	7.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	67,834,489 株	23年3月期	67,834,489 株
24年3月期2Q	26,737 株	23年3月期	24,987 株
24年3月期2Q	67,809,104 株	23年3月期2Q	67,810,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了している。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入力可能な情報に基づき作成しているが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性がある。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動が低下し、円高による輸出減少が続いている。また個人消費においても消費が低迷しており、景気の回復が不透明な状況が続いている。このような経済状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し商事事業の輸入炭販売単価が上昇したこと及び利益が増加したことを主因に、売上高は159億22百万円（前年同期比26.2%増）、営業利益4億71百万円（同56.4%増）、経常利益5億21百万円（同25.2%増）、四半期純利益5億61百万円（同44.9%増）となった。

なお、セグメントの業績は以下のとおりである。

①不動産事業

札幌及び釧路の棚卸資産を売却したこと等により、売上高は15億29百万円（対前年同期比18.5%増）となり、営業利益は2億86百万円（同32.6%増）となった。

②商事事業

輸入炭販売単価の上昇及び利益の増加により、売上高は93億円（同39.1%増）となり、営業利益は3億44百万円（同27.3%増）となった。

③サービス事業

シルバー事業の稼働率維持等順調に推移し、売上高は28億17百万円（同3.1%増）となり、営業利益は1億61百万円（同11.9%増）となった。

④その他の事業

電気設備等の工事売上高が増加したことにより、売上高は22億74百万円（同19.4%増）となったが、炭カル肥料の販売が不調だったため、営業利益は8百万円（同78.8%減）となった。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、344億77百万円となり、前連結会計年度末11億6百万円増加となった。この主な要因は、輸入炭等の在庫数量が増加したことにより棚卸資産が4億45百万円増加したことによるものである。

負債は、216億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億70百万円増加となった。この主な要因は、短期借入金の増加等によるものである。

純資産は、四半期純利益5億61百万円となり利益剰余金が増加したが、その他有価証券評価差額金の減少2億60百万円等により、128億34百万円（前連結会計年度末比2億35百万円増）となり、自己資本比率は36.2%（前連結会計年度は36.8%）となった。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は48億56百万円となり、前四半期連結累計期間末に比べ10億86百万円増加となった。また、前連結会計年度末に比べ8億88百万円増加となった。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動等の結果使用した資金は7億21百万円（前年同四半期は7億98百万円の支出）となった。これは主に事業活動によるものである。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動等の結果使用した資金は2億49百万円（前年同四半期は3億73百万円の収入）となった。これは主に固定資産の取得によるものである。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動等の結果得られた資金は18億60百万円（前年同四半期は4億59百万円の収入）となった。これは主に借入金の増加によるものである。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、現時点で平成23年5月12日に公表した計画から変更はない。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであるもので、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はない。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,108	5,118
受取手形及び売掛金	2,966	2,736
販売用不動産	487	487
未成工事支出金	694	309
商品及び製品	2,348	3,198
原材料及び貯蔵品	143	124
その他	1,572	2,101
貸倒引当金	△29	△28
流動資産合計	12,292	14,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,343	4,652
土地	9,817	9,891
その他（純額）	1,318	834
有形固定資産合計	15,479	15,378
無形固定資産		
その他	147	150
無形固定資産合計	147	150
投資その他の資産		
投資有価証券	2,586	2,051
長期貸付金	299	291
差入保証金	2,013	2,019
その他	586	573
貸倒引当金	△35	△36
投資その他の資産合計	5,451	4,899
固定資産合計	21,078	20,428
資産合計	33,371	34,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,691	2,075
短期借入金	1,744	4,036
賞与引当金	220	230
完成工事補償引当金	5	5
その他	2,493	2,603
流動負債合計	7,155	8,950
固定負債		
社債	780	676
長期借入金	1,391	1,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受入保証金	4,612	4,524
退職給付引当金	634	649
債務保証損失引当金	821	1,041
負ののれん	197	98
資産除去債務	189	189
その他	4,990	4,281
固定負債合計	13,617	12,691
負債合計	20,772	21,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,782	3,782
資本剰余金	2,890	2,890
利益剰余金	3,949	4,355
自己株式	△2	△2
株主資本合計	10,618	11,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,192	932
土地再評価差額金	484	538
その他の包括利益累計額合計	1,677	1,470
少数株主持分	302	339
純資産合計	12,598	12,834
負債純資産合計	33,371	34,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	12,613	15,922
売上原価	10,893	13,919
売上総利益	1,719	2,003
販売費及び一般管理費	1,418	1,532
営業利益	301	471
営業外収益		
受取配当金	33	28
負ののれん償却額	98	60
その他	64	43
営業外収益合計	196	132
営業外費用		
支払利息	55	57
その他	25	24
営業外費用合計	81	82
経常利益	416	521
特別利益		
固定資産売却益	—	100
投資有価証券売却益	404	380
その他	45	—
特別利益合計	449	481
特別損失		
債務保証損失引当金繰入額	187	220
じん肺補償損失	—	65
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
その他	27	32
特別損失合計	454	318
税金等調整前四半期純利益	411	684
法人税等	56	84
少数株主損益調整前四半期純利益	354	599
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△32	37
四半期純利益	387	561

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	354	599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△359	△259
その他の包括利益合計	△359	△259
四半期包括利益	△4	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29	300
少数株主に係る四半期包括利益	△33	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	411	684
減価償却費	344	355
負ののれん償却額	△98	△60
固定資産売却損益(△は益)	△44	△74
固定資産除却損	9	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
受取配当金	△33	△28
受取利息	△8	△6
支払利息	55	57
投資有価証券売却損益(△は益)	△404	△380
売上債権の増減額(△は増加)	503	230
たな卸資産の増減額(△は増加)	△847	△433
仕入債務の増減額(△は減少)	△847	△381
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	187	220
じん肺補償損失引当金の増減額(△は減少)	—	65
その他	△224	△393
小計	△757	△139
利息及び配当金の受取額	41	34
利息の支払額	△51	△59
法人税等の支払額	△63	△76
法人税等の還付額	31	10
引受債務の支払額	—	△492
営業活動によるキャッシュ・フロー	△798	△721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△263	△780
固定資産の売却による収入	180	221
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	470	418
関係会社株式の払込による支出	△140	—
定期預金の増減額(△は増加)	269	△121
その他	△142	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	373	△249

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	230	—
社債の償還による支出	△16	△104
短期借入れによる収入	2,839	3,676
短期借入金の返済による支出	△2,292	△1,492
長期借入れによる収入	215	130
長期借入金の返済による支出	△364	△182
配当金の支払額	△135	△101
その他	△14	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	459	1,860
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	34	888
現金及び現金同等物の期首残高	3,734	3,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,769	4,856

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はない。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,290	6,684	2,732	10,708	1,905	12,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	415	189	736	45	781
計	1,421	7,100	2,922	11,444	1,950	13,394
セグメント利益	216	270	144	631	37	669

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	631
「その他」の区分の利益	37
セグメント間取引消去	△7
全社費用(注)	△360
四半期連結損益計算書の営業利益	301

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はない。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,529	9,300	2,817	13,648	2,274	15,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	279	208	613	559	1,173
計	1,656	9,579	3,026	14,261	2,834	17,095
セグメント利益	286	344	161	792	8	800

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	792
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	5
全社費用（注）	△334
四半期連結損益計算書の営業利益	471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はない。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はない。

(7) 重要な後発事象
該当事項はない。